



飛鶴の森林から

第70号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

「国有林におけるNPO団体等活動発表会」で 雷別ドングリ倶楽部の活動を報告

12月8日（土）、札幌市教育文化会館において「国有林におけるNPO団体等活動発表会」が開催され、当ふれあいセンターからは雷別ドングリ倶楽部の活動状況について発表を行いました。

この日の発表は、当初から会のメンバーとして活躍している清水さんから、雷別ドングリ倶楽部のこれまでの活動を報告していただきました。その他の発表としては、NPO法人北海道市民環境ネットワーク（きたネット）常務理事の宮本氏から森林保全活動団体による森づくり活動とネットワークの必要性についての基調講演や、他のふれあいセンターで活動している団体から活動状況等の報告が行われました。

当日は予想以上の降雪により来場者の減少が心配されましたが、120名の方が会場を訪れ、盛況のうちに発表会は終了しました。



発表を行う雷別ドングリ倶楽部の清水さん



発表の様子

※発表会の概要は、北海道森林管理局のホームページでご覧いただけます。

「国有林における NPO 団体等活動発表会」 <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/sidou/121208.html>

「白糠町ふるさと未来塾交流学習会」で 鳥の巣箱作りを指導

12月15日（土）、白糠町社会福祉センターにおいて、白糠町教育委員会が主催する「白糠町白洋大学・白糠町ふるさと未来塾交流学習会」が開催され、当センターでは鳥の巣箱作りの指導を行いました。

この交流学習会は、地域の高齢者と子ども達との交流を深めてもらうことを目的として、白糠町教育委員会が開催したものです。当日の午後は、木工工作を通して交流を行いました。

当センター職員が鳥の巣箱作りの作成指導者となり、会場では高齢者や子ども達20余名が巣箱作りに挑戦しました。参加者の皆さんは1時間ほどで巣箱を作り上げ、そのできばえに満足した様子でした。

また、巣箱作りのほかに釧路総合振興局や森林室等の指導によるマツボックリのクリスマスツリー作り、my箸作り、木の葉のしおり作りなどが行われ、この日は木工工作による世代間の多様な交流が図られました。

巣箱の作り方を説明



← 巣箱を作成する様子

「2013年 ふれあいセンターのカレンダーができました！」

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターでは、より多くの方に国有林を知っていただくために、国有林の風景などを用いた2013年版のカレンダーを作成しました。

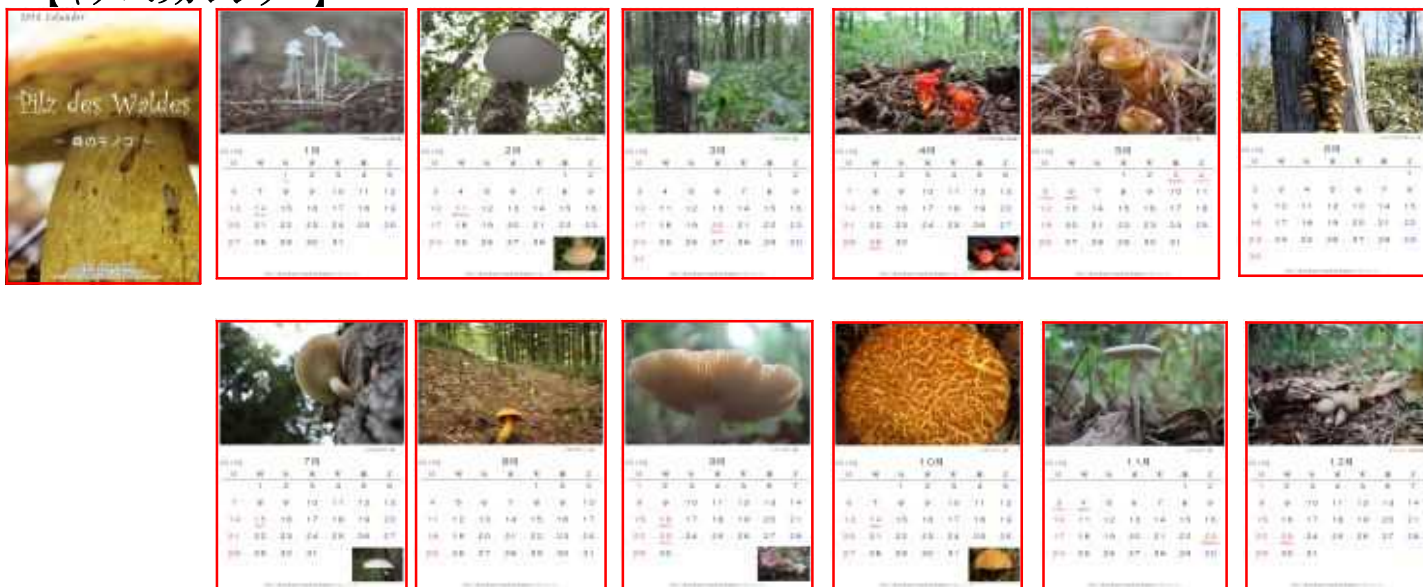
今回のカレンダーは、別寒辺牛湿原の上流部に位置するパイロットフォレストを題材にした「PILOT FOREST」と、国有林内で生育する天然のキノコを題材にしたカレンダー「Pilz des Waldes ~森のキノコ~」の2種類です。

どちらのカレンダーも「森」をテーマにしています。根釧地域の自然の息吹や森林からのメッセージを感じてください。

【パイロットフォレストのカレンダー】



【キノコのカレンダー】



上記カレンダーは、当センターホームページよりダウンロードできます

ホームページの URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/calendar2013/index.html

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター
 〒085-0825 釧路市千歳町6-11
 TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305
 URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html
 E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp